

阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友の会通信 2008

No.2 (通巻51号) 2008.8.1発行

- 目次 ※夏休みは博物館へ! 友の会行事に参加してみませんか?…P1
※サロンコンサートVol.6…P2 ※会員随想 「山古志ふたたび」展と山古志の棚田…P3
※盛況のうちに Togo Museum Ensemble 第10回記念演奏会 ほか…P4

発行: 吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1 (阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)
TEL0250-68-1200、FAX0250-68-5016、web版友の会通信<http://diary.jp.aol.com/nuuhju/>

夏休みは博物館へ!

子ども博物館開催中

夏休み子ども博物館



8月31日(日)までは小中学生に限り無料で入館できます!

(開館時間中出入り自由です)



毎日9:30~17:00(月曜は休館日)

- 常設展示を自由に観ることができます。
- 学習のために1階ワークスペース、2階情報ライブラリーを開放しています。

★無料で利用できる人／小中学生(市内・市外を問いません)

★利用の仕方／博物館の受付で名前を書き、自由に学習できます。

(郷土の歴史や自然についての研究のお手伝い、夏休みのおもしろ情報も提供します)

友の会会員の皆さんにお願い

期間中に子どもたちの学習や研究をサポートして下さるスタッフを募集しています。詳しくは博物館まで。

友の会行事に参加してみませんか!

とんとむかしを聞く会・星空への招待

とんとむかしを聞く会

～安田の昔話と伝説～

夕涼み お子さん、お孫さんと一緒に

日 時／8月29日(金) 19:00~20:30

会 場／市立吉田東伍記念博物館
(吉田東伍生家)

おはなし(友の会会員)

小内フミさん、白井皓一さん、小野里澄子さん

参加費／無料

星空への招待 2008

～上弦の月を観る～

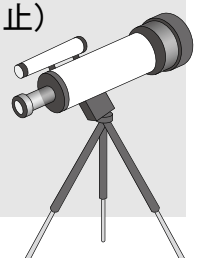
夏の名残の月を天体望遠鏡で観察します
ご家族でどうぞ!

日 時／9月7日(日) 19:00~

(天候が悪い場合は中止)

会 場／城ノ内交通公園
(安田公民館隣)

参加費／無料



オペラデュオ

Felice フェリーチェ ～日本の歌とイタリアの歌～

県内各地でコンサートを開催されている「オペラデュオFelice」が、恒例のサロンコンサートに登場します。Felice(フェリーチェ)は、イタリア語で「幸せ」という意味です。ピアノのKEIKOさん、テノールのSOSHIさん、ご夫婦の息のあったアンサンブルと軽快なトークでお届けする楽しく幸せなひととき。ぜひご来場ください。

日 時／9月15日(月・祝) 14:00開演(13:30開場、15:00終演予定)
会 場／市立吉田東伍記念博物館(吉田東伍生家)
入 場 料／博物館入館料のみ(大人 300 円、小中学生 150 円)
友の会会員は無料
出 演／オペラデュオ Felice(フェリーチェ)
ピアノ: KEIKO テノール: SOSHI
曲目(予定)／「初恋」「荒城の月」「鐘がなります」「城ヶ島の雨」
「カタリ・カタリ」「オー・ソレ・ミヨ」「アメイジング・グレイス」ほか



オペラデュオ

Felice フェリーチェ

プロフィール

1998年よりイタリア・ボローニャに留学。2004年より、ドイツ・ハンブルクにてオペラ歌手事務所に所属し、ハンブルク国立歌劇場など、イタリア・ドイツを中心にリサイタル、オペラ、コンサートに出演。ヨーロッパから帰国後、2006年より新潟県を中心にコンサート活動を行う。NHK新潟「ニュースファイル・@ヒューマン」やケーブルテレビにも出演。三越イタリア・フェアなど、さまざまな会場や病院でのロビーコンサートやイベントに出演。保育園・小学校・中学校などの音楽鑑賞会にも招かれ、多数のコンサートを行う。

HP <http://operaduofelice.web.fc2.com/>

.....

東伍生家の庭園清掃にご協力ください!

友の会では、下記のとおり「サロンコンサート」に向けた会場準備を行います。また、コンサート当日の運営スタッフも募集中です。ご都合のつく方は是非ご参加ください。

清掃・草取り 日時●9月7日(日)午前6時～午前7時30分

動きやすい服装でご参加ください。参加いただける方は、鎌・軍手をご持参ください。

「山古志ふたたび」展と山古志の棚田

長谷川 大八（友の会会員）

6月21日(土)。ひと雨欲しい薄曇りの中、24名がマイクロバスで一路長岡へ向いました。

新潟県立歴史博物館では、「山古志ふたたび」展の開幕セレモニーです。大久保神楽の披露、旧山古志村長の長島忠美氏の顔もあります。テープカットが終わり、さあ開幕です。先ず目に入るのが古い柱時計。震災の午後5時56分で止まっています。あれから3年8ヶ月たって、山古志の生活が「ふたたび」始まり、「ふたたび」時が動き出したかのようです。写真・絵画や多くの民具、これは一時避難していた旧山古志民俗資料館の所蔵品です。そして、震災で潰れた家電製品の数々。震災の年の大晦日に除夜の鐘として使ったドラム缶は、名付けて「希望の鐘」。当時の復興への決意がうかがわれます。

午後は山古志の現地行です。テレビでも注目された妙見の土石崩落現場を通過。巨大な岩石がまだ残っています。山古志へ入り東竹沢の大きなダムを左に見て、小松倉の中山隧道へ。新中山トンネルの脇に現存。暗くて冷ややかな隧道内へ入ると、途中の横穴にあかり。トロッコが置いてあり、ツルハシの掘り跡がはっきり残っていました。人の通る手掘り隧道では日本一。全長877m、幅2m、高さ2.5m。昭和8年から16年がかりで貫通したそうです。当初



は一人一人分の狭いものでしたが、その後に拡張工事がなされました。山古志には中山隧道の年代前後に数ヶ所の隧道が掘られています。この地方は、水田に水を引くため片刃のツルハシで岩盤を水平に掘って行く、「横井戸」掘りの技術を持っていたのでこうした大工事が可能だったとのこと。

道を戻り、東竹沢のダムへ。これは大規模な土砂崩落により芋川がせき止められた河道閉塞によるダムです。水没した木籠集落では、枯木が水面に突き出ており、上流側北へ進むと立派な建物の瓦屋根が、まだ二階部分だけが水の上に残っていました。さらに北上し、池谷の闘牛場、そして種芋原集落を経由して、山古志支所（旧村役場）で一休み。その後、吉田東伍記念博物館での復興支援展「山古志の春」で展示された写真家の片桐恒平氏のギャラリーに立ち寄りました。



それにしても全村避難の憂き目に遭いながらも、再び揃って山古志へ帰ろうという強い決意、復興にかける情熱と力はどこから湧いてくるのでしょうか。山又山の地勢、地すべり多発地帯。そして、4mの豪雪地です。昔から代々受け継がれた自然と共生する知恵と工夫が棚田を作り、食用鯉から錦鯉を生み出し、荷役と肉牛から闘牛を育て、かつては養蚕も行いました。そして、横井戸の技術から連絡隧道を掘るなどなど。素晴らし

く、凄い。この努力と成果と不屈の精神が限りない郷土への愛着となるのでしょうか。種々教えられ、またエネルギーをもらった興味ある有意義な一日でした。企画に感謝いたします。

「会員随想」への投稿をお待ちしています！

「会員随想」は友の会活動を通じて、感じたことなどを会員が自由に述べる場です。掲載希望の方は友の会事務局までご連絡ください。



盛況の
うちに

Togo Museum Ensemble

第10回記念演奏会

友の会設立10周年を記念した恒例のTME演奏会。過去最高の約140名の入場者を得て開催されました。記念すべき10回目の演奏会のタイトルは「オーケストラの愉しみ」。この演奏会が始まってからの念願であった小編成のオーケストラが東伍の生家で実現しました。ソプラノの横田聡子さんの歌声が花を添え、小学唱歌「港」の新編曲版「世界初演」で演奏者と会場が一体になりました。20年目は、オペラ公演か、フルオーケストラの演奏会か。夢を未来へつなぐ素敵なコンサートとなりました。



サークルだより

白河荘を歩く会 5・6月例会報告



5月(22日、17名参加)と6月(19日、15名参加)の例会は、「[白川御館]候補地を歩く」と題して、安田城と華報寺の周辺を歩きました。いよいよ越後城氏の幻の居館に迫るという本題に入ってきましたが、やはりそこは大きな謎。なかなか確信には至りません。ただ、安田城跡の背後にある古道「五庵の道」を歩いたり、笹神地区郷土資料館で圧倒的な石造物群を目にしたりしていると、「白川御館」の謎に近づいているような気がします。参加者による解説やちょっとした会話など、巡見の道すがら、見るもの聞くものの一つ一つを大切に、これからも探索を続けていきたいと思ひます。

10月例会のご案内

10月2日(木) 13:30~16:00 「白川御館」候補地を歩く③ 巡見地:六野瀬館跡
集合場所/市立吉田東伍記念博物館 ※7~9月の例会はお休みします。

活動に関するお問い合わせは、友の会事務局(Tel.0250-68-1200)まで。
資料準備の都合上、参加ご希望の方は9月30日(火)までにお申し込みください。

「会員名簿」の取り扱いについて

運営委員会より会員の皆様へ

4月の定例総会において、「会員勧誘などに利用するため、会員名簿を公開してはどうか」というご意見がありました。この件につきまして、他館の友の会での対応等も調査した上、7月10日(木)開催の友の会運営委員会で検討いたしました。その結果、県内の公立博物館友の会では会員名簿を積極的に公開しているところはなく、また公立施設の友の会という会の性質を考えると、現行では公的機関の個人情報の取り扱いに準ずる扱いとすべきであり、会員名簿の公開は行わないという結論に至りました。会員の皆様のご理解をたまわりたいと存じます。

なお、入会申し込みの際にいただいた会員の個人情報は、会員証及び友の会通信、博物館の催し物の案内発送のほか、会員の動向分析を利用目的とし、これまでどおり友の会事務局において適切に管理させていただきます。会員の個人情報を会員各位の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません(法令などにより開示を求められた場合を除きます)。

お忘れになつて
いませんか?

会費の納入をお願いします

会費はお早めに、前回同封した振込用紙が直接博物館で納入してください。

年 会 費	個人会員	(小中学生)	1,000円
		(高校生以上)	2,000円
	家族会員	(同居する家族)	3,000円
		賛助会員 (企業・個人)	10,000円

編・集・後・記 ●★●★●★●★●

たびたび更新される「web版友の会通信」(<http://diary.jp.aol.com/nuuhju/>)をご覧いただけましたか? ブログの持つ速報性と臨場感は驚くべきものです。博物館、そして友の会の活動に関する情報を発信することが、活動の輪に広がりを持たせるツールになるのかもしれません。夏・秋シーズンの友の会活動にもご期待ください。(H・T)